

～えを見て おはなししよう～

広島市立東野小学校 児玉 敬子
加藤 恵子

1 日時・場所 11月28日(月)5校時, 1年2組教室

2 学年・学級 第1学年 2組 (男子15名 女子13名)

3 題材について

○ 本学級の児童は、楽しんで表現活動に取り組むことができる。しかし、やりたいことの具体的なイメージが浮かばなくてなかなか活動に入れなかったり、思いをもって活動し始めても途中でどう表してよいか分からず、とまどったりする児童がいる。また、表したいことがあっても、材料や用具をうまく扱えなくて途中で活動が進まなくなってしまう、自分の思いを十分に表せず、つまずいてしまう児童がいる。表現活動の後には、できあがった作品をすぐ掲示することで、友達の作品や自分の作品に関心を持ち、相互鑑賞することも楽しんでいる。児童は、友達の作品を見て、作品のよさを理由を付けて意欲的に発表することができる。しかし、その理由は、大きくかかっているものや全体の色のつけ方などの印象的な意見が多く、小さくかかっているものや、部分までは詳しくみるまでには至っていない。また、感じたことを言語に表すことがうまくできないため、発表したくてもできない児童がいる。また、絵本が大好きで、休憩時間や朝読書の時間に「ウォーリーをさがせ」や「ミッケ」のように細かく描かれた絵の中から友達同士で楽しんで見付けている児童がいる。

○ 本題材は、絵本の大好きなこの時期に、絵本に登場する場所の中から、各児童がお気に入りの場所を選び、その絵の中にあるものを見つけてワークシートに書き、それを読んで他の児童がその場所を当てる活動を通して「見ることを楽しむ」ことをねらった題材である。「かいたり、つくったりしたものなどを見ることに興味をもつ」という低学年の鑑賞の目標にせまるためには、取り上げる作品は、児童の興味・関心に合っていることや、発想が児童一人一人多様に広がるものがよいと考える。そこで、第1学年の児童にとって身近で大好きな絵本を鑑賞の対象として取り上げることとした。取り上げた絵本は、安野光雅作「旅の絵本」であり、どのページにも文字がなく、自然豊かな風景や様々な人物がかかれており、まるで旅をしているような気分が味わえるものである。シリーズの中でもアメリカ・スペイン・デンマーク・中国・イギリスの特徴的で、思わず話したくなる世界がかかっている絵本の場面を選んだ。また、鑑賞した後には、本校の造形タイムでよく登場する主人公のキラリンくんが旅をしている絵をかくことで、よりお話の世界を楽しむことができると考える。絵本の「ウォーリーをさがせ」のように自分たちがかいた絵で友達と絵のお話をしたり聞いたりする楽しさを感じさせたい。

○ 指導に当たっては、児童が鑑賞の対象である絵の部分を見つめるために、絵本の場面を絵カードにし、2～3人に1枚持たせ手元でしっかり見る鑑賞活動を行うことにする。絵本の中のお気に入りの場所を探し、その理由を話したり友達の話を知り、作品を楽しく見るようにしたい。また、同じ場所の絵を見ても、一人一人の感じ方が同じであったり、違ったりすることを知り、いろいろな見方や感じ方があることに気付かせたい。さらに、児童の語彙を増やすために、五味太郎作「言葉図鑑」を利用して、いろ・かたち・ようすを表す言葉を楽しく獲得させる取組を行うようにする。鑑賞の際には、これらのいろ・かたち・ようすに着目させて言語活動を行う。こうした活動が、より具体的に自分の表現したいものをイメージすることにつながると考えており、主人公のキラリンくんが各児童の好きな場所へ旅する絵ができあがることをめざして楽しく活動させていきたい。最終的には、学級全員の児童の作品をつづった絵本にすることを表現の導入の際に伝えて、児童の意欲付けとしたい。

4 題材の目標

- 絵本をよく見て自分の思いを話したり、友達の違いを聞いたりして、作品を見ることや自分で考えた場所の絵をかくことの楽しさを味わう。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲 ・態度 【関】	イ発想や構想の能力 【発】	ウ創造的な技能 【創】	エ鑑賞の能力 【鑑】
題材の評価規準	キラリンくんがどこかに旅する場所を想像して絵に表す活動を楽しもうとしている。 絵本の4場面の中から、自分のお気に入りの場所を見付けようとしている。	キラリンくんが旅する場所を想像して絵に表すために、好きな色を選んだり、形を考えたりしている。	キラリンくんが旅する場所について、水性ペンやパステックなどを使いながら、表し方を工夫している。	絵本を見て、気に入った場所を選び、自分の思いを話したり、友だちの違いを聞いたりして、楽しく絵を見ている。

6 指導と評価の計画（全3時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		観点・評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する 状況への手だて
第一 次 （ 1） 本 時	絵本の4つの場面の中から、自分のお気に入りの場所をみつけ、その場所の様子をワークシートに書く。お気に入りの場所の形や色などから、それがどの場面の絵か当てるゲームをする。	ア 児童の様子の観察 エ 活動の様子の観察	絵本の4つの場面の中から形や色などの違いに気付き、その場所の様子をよく考え進んで書いている。同じ場所の絵を見ても、形や色などから、いろいろな見方や感じ方があることに気付いている。	児童のところへ行き、「言葉図鑑」を見せながらどんな言葉で表せるか考える。うまく伝えられない児童は、自分の書いたワークシートを友達に見せてもよいことを伝えたり、やろうとしていることを励ましたりする。
第二 次 （ 2）	主人公のキラリンくんが好きなお話へ旅に出た絵をかく。友だちと絵のお話をしたり聞いたりして、楽しみながら絵をみる楽しさを感じる。	ア 児童の様子の観察 イ 児童の様子の観察 ウ 活動の様子の観察 エ 活動の様子の観察	自分がイメージしたことをもとに、想像をふくらませて表し方を考えている。友達と絵のお話をしたり聞いたりしながら、絵をみる楽しさを感じている。	児童のところへ行き、キラリンくんの絵を見せながら、どんな場所へ旅したいかを言葉で表してみる。近くの友達の作品を見てもよいことを伝えたり、やろうとしていることを励ましたりする。

7 本時の目標

絵本をよく見て自分の気に入った場所を話したり，友達のことを聞いたりして，楽しく絵を見る。

8 準備物

(指導者) 拡大掲示絵 (5種類)，絵カード (各班に4種類)

(児童) ワークシート

9 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価規準・評価方法
1 本時の学習内容をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">絵本をよく見て，自分のお気に入りの場所を話したり， 友達の場所の話の話を聞いたりしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 5枚の絵の中から担任のお気に入りの場所を当てて，見つけたものを発表させる。 	
2 絵本の4つの場面の中から，自分のお気に入りの絵を見つけ，その絵から見つけたものや お気に入りの理由をワークシートに書く。	☆ 自分の表現に自信のない児童には，自信をもって取り組んでいけるように，励ましや共感的な言葉かけをしていく。	
3 自分のお気に入りの絵を学級全員の前で発表して，当ててもらおう。	○ 各班にある絵カードを見て，細かいところを確認できるようにする。	○ 友だちが選んだお気に入りの絵を形や色，ようすなどからみつけるために絵をしっかりとみている。
4 班の友だち同士で順番にお気に入りの絵を当てっこする。	☆ 集中できない児童には，最後まで友だちの話を聞くことができるように支援する。	エ *活動の様子の観察
5 活動を振り返って，次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りの絵を見つけることを通して，自分の思いを話したり，友だちの思いを聞いたりすることが，みる楽しさにつながることを確認する。 主人公のキラリンくんが好きなどころへ旅をする絵を一人一人がかいて，みんなの絵を絵本にすることを知らせる。 	

旅の絵本Ⅲ イギリス 城から抜け出す王子 担任のお気に入りの絵

旅の絵本Ⅳ アメリカ ビル街をパレード 旅の絵本Ⅵ デンマーク チボリ公園

旅の絵本Ⅴ スペイン 人間ピラミッド 旅の絵本Ⅶ 中国 正月の祭り

ことばずかん

いろ	かたち	ようす
あかい ちやいろい しろい くろい あおい こい きいろい うすい みどり あわい オレンジ ゆたかな きれいな やわらかい あざやかな	まるい おもしろい しかくい さんかく まっすぐ なめらか ふくざつ ながい みじかい	あたたかな まぶしい にぎやかな ゆかいな のどかな あたらしい ふしぎな なつかしい はなやかな かわいい はれやかな やわらかい すてきな あんしんな